

夏号

2024  
令和6

No.224 6月議会特集

3月

6月

9月

12月

# 高田 かげはし

じょうえつ市議会だより



## 市民クラブ

小林 和孝 (代表)  
 高山 ゆう子 (副代表)  
 こんどう 彰治 (幹事長)  
 山本 佳洋 (会計)  
 熊倉 隆将 (事務局長)  
 本城 文夫 (事務局次長)



私たちは、個人のポリシーと議論による合意形成を大切にしながら、日々の研鑽と調査研究により、問題や課題を解決して市民の最大幸福を目指します。また、行政側から提案される政策については、是々非々で臨み、議会を通じその理由を明確にして、行政には市民の理解と共感を得られるよう説明を求めています。

## 久比岐野



橋本 洋一 (代表) 安田 佳世 (副代表)  
 スラットン 恵美子 (幹事長) 草間 和幸 (事務局長)  
 降旗 太地 大島 美香  
 江口 修一 飯塚 義隆

広域な市域から選出された、30 から70 代までバランス良く幅広い人材が集まる上越市議会最大会派です。昨年度は人口減少社会や防災対策、通年観光施策などを重点に活動して参りました。今年度は「アクセスを活かした街の魅力と活力 UP」「再発見と新発見による住みやすさの追求」を方針として、精力的に活動してまいります。



議会の機能強化と主体性を確保し、活発な議論が交わされる場となるよう、鋭意検討してまいります。

上越市議会 議長  
 渡邊 隆



## つなぐ

宮崎 朋子 (代表)  
 関川 信之 (副代表)  
 平原 留美 (幹事)  
 滝澤 陽一 (幹事)



会派「つなぐ」は、熱く、フレッシュな思いを持った1期、2期目の議員で結成いたしました。ぜひ、お気軽にお声がけください！

1. 個々が偏見を持たず、フラットな視点で議論をいたします。
2. 360度と発展的な視点で、市政のチェックをいたします。
3. 研鑽を積み、市民や地域のお声をつなぐ政策集団を目指します。

会派はどんな基本方針で活動しているの？



## 特集

# 会派の紹介

議員活動を行う上で、基本的政策が一致する議員が会派をされている団体を会派と呼び、議会運営委員会や各派代表者令和6年7月25日現在、6会派（無所属5名）です。

結成しています。本市の場合、2人以上で構成会議に参加できます。

## 日本共産党議員団

上野 公悦 (団長)  
 橋爪 法一 (副団長)  
 平良木 哲也 (会計)



<市民の皆さんの苦難に寄り添う活動>  
 私たちの活動の基本は、どんな時でも市民の皆さんの声をしっかりお聞きし、行政にしっかりと届けて、願い実現のために頑張りぬくことです。毎週「市議団ニュース」(会派発行)と「こっぺ通信(上野)」・「活動レポート(橋爪)」・「活動ノート(平良木)」でお知らせしています。

## みらい

石田 裕一 (代表)  
 高橋 浩輔 (幹事長)  
 櫻庭 節子 (副幹事長)  
 牧井 邦生 (会計)



会派「みらい」は、「謙信公が治めた頸城平野に広がる私たちの郷土、この上越市の風土に培われた確かな文化を護り、豊かな“みらい”につなげて行く」ことを基本理念に活動します。住民の福祉向上を「第一義」に、志を一つに、フットワークよく、常に学び、皆様のご意見を聞き、政策提言する集団として努めます。

## 公明党

山田 忠晴 (代表)  
 西沢 智子 (事務局長)



会派公明党は「福祉」第一に、一人一人の小さな声に真剣に向き合い、高齢者福祉、障害者福祉の充実を図り、様々な疾患を予防する為の任意予防接種の助成(带状疱疹ワクチン、HPVワクチン等)に取り組んでまいります。今後も、市民のどんな小声もしっかり市政に届けてまいります。

## 会派に属さない議員

滝沢 一成

事業縮小、人手不足、DX等様々な難題に直面する地元事業者の皆さんを支えるのが私の使命と考えます。

伊崎 博幸

希望と感謝とチャレンジに溢れ、上越が大好き！と言えるまちづくりを目指します。

丸山 章

当市の発展のために、これからも政策を提言するとともに、市政とは是々非々で対応してまいります。

宮越 馨

市政の立て直しを図り、子ども年金制度の実現で人口減少を食い止め、高齢者の安心安全を確保します。



04 point 定額減税補足給付

補正額  
約 **15.7** 億円

- 国の総合経済対策における物価高への支援として行う1人4万円の定額減税において、減税しきれないと見込まれる納税義務者に対して、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した定額減税補足給付金（調整給付）を支給
- 申請方法は 郵送申請方式またはオンライン申請方式
- 申請受付期間は確認書発送日から令和6年10月31日まで



05 point 被災者生活再建支援

補正額  
**1,225** 万円

- 能登半島地震により被災し、半壊相当となった住宅について、危険度や損傷程度等によりやむを得ず解体した世帯に対し、被災者生活再建支援金を追加支給
- 支援金は、被災の程度によらず、2人以上世帯の場合は50万円、単身世帯の場合は37.5万円



次のページで  
これら補正予算等に関する  
注目の質疑をご紹介します！



02 point 児童手当給付

手当の拡充  
第3子以降  
月額 **3** 万円など



- 国による児童手当の制度改正に伴う、所得制限の撤廃や支給期間の延長、加算額の拡充
- 3歳未満の手当月額は、第1・2子は1.5万円、第3子以降は3万円
- 3歳から高校生年代までの手当月額は、第1・2子は1万円、第3子以降は3万円
- 令和6年12月支給分から適用



03 point 農地渇水・高温対策

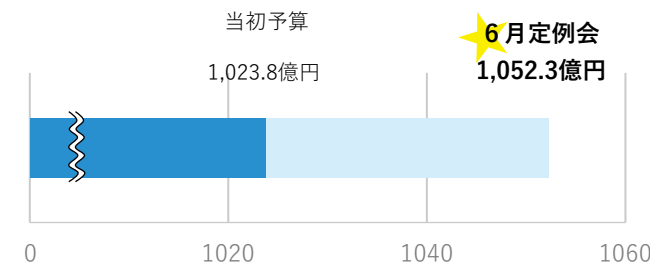
補正額  
**1,020** 万円



- 農作業における水不足に対するポンプを始めとした、かん水用機械や燃料の購入などに要する費用の支援
- 今夏が昨年と同様に高温・渇水となった場合に備え、農畜産業者等が講ずる渇水対策、暑熱対策への支援



令和6年度予算額の推移



6月定例会では、生活困窮世帯に対する物価高騰への支援や、能登半島地震での被災者に対する生活再建支援、農地の渇水・高温対策等に要する費用を増額する補正予算が審査されました。今定例会の注目すべき5つのポイントをご紹介します。

01 point 生活困窮者自立支援

助成額  
1世帯当たり **10** 万円



- デフレ完全脱却のための総合経済対策における物価高への支援
- 今年度新たに住民税非課税等となる世帯に1世帯当たり10万円を支給するとともに、18歳以下の児童を扶養している場合は、児童1人当たり5万円を追加で支給
- 初回振り込みは令和6年8月下旬
- 申請期限は令和6年10月31日

令和6年度の補正予算などを審査する

# 6月定例会

3・6・9・12月に開催される定例会のうち、6月定例会の内容をお届けします。  
6月定例会は、主に今年度の当初予算に追加や変更を加える補正予算を審査しました。

6月定例会の流れ

- 1 本会議 市長による議案の提案説明 6/7(金)
- 2 本会議 総括質疑 6/7(金)  
議員が提案された議案に対し質疑を行う
- 3 本会議 委員会付託 6/7(金)  
4つの常任委員会に審査を付託することを決定
- 4 委員会 常任委員会 6/10(月)～13(水)  
総務・厚生・農政建設・文教経済の各常任委員会に分かれて審査
- 5 本会議 一般質問 6/14(金)～19(水)  
議員が市政全般に渡って質問し、市の見解を聞く（関連記事12ページ）
- 6 本会議 委員長報告 6/21(金)  
各常任委員会での審査結果を全員で共有
- 7 本会議 討論 6/21(金)  
議案等に対して賛成か反対かを表明し、意見を論じ合う（関連記事8ページ）
- 8 本会議 採決 6/21(金)  
議案等の可否を決める（関連記事9ページ）

市の議員の  
**Q & A**  
総括・委員会質疑  
身近な話題を Pick up!



**給食へのアレルギー食材の混入事故**

**Q** 食物アレルギーのある児童がアレルギー物質を含む給食を食べ、アナフィラキシー症状を発症した事故について和解の条件が整いました。

**損害賠償額の根拠は。**

**A** 入院に係る費用に精神的な損害の賠償費を加えたもの。

● 学校教育課／事後の入院費、通院費、それに要した交通費、精神的な損害を受けたことによる賠償費を加味して算出した金額である。

**生活困窮者の自立支援**

物価高への支援として、今年度新たに住民税非課税等となる世帯に10万円を支給するとともに、18歳以下の児童を扶養している場合は、児童1人当たり5万円を支給するため、補正予算を専決処分した旨の報告がありました。



**Q** 申請期限が近づいても申請しない人へのフォローは。

**A** 連絡して申請を促していく。

● 生活支援課／生活支援給付金については、プッシュ型ではなく、確認証という形で申請書を送付する。その申請書を10月31日までの間に、提出いただく。期限前に提出がされない方には、再度連絡し、申請を促していく。

**米関連産業に着目した調査研究の充実**

当市の特徴的な地域資源で、重要な産業である米関連産業に焦点を当て、持続可能な地域づくりを検討するための調査研究について、経費を増額する補正予算が提案されました。

**Q** この研究を今後どのように政策に結びつけていくか。

**A** 市の様々な分野の政策に横串を通し、反映させていく。

● 副市長／地域内経済循環は、人口の1%増を目標に掲げている。その中で、今回の米関連産業の調査研究については、米というものに注目し、その地域内経済の循環に今の状況がどうなのか、今後増やすためには何が必要なのかというところを研究し、市民との合意形成を図っていくためのデータを取る作業である。創造行政研究所は、市の様々な部局の横串を通す役割を担っていると考えている。今後、医療や介護、地域自治の分野でも、横串を通し、市政に反映していくような研究を続けていきたい。

**キューピットバレイ新リフト建設工事**

キューピットバレイ新第2リフトの建設で、地質調査の結果に基づく地盤改良工事を行う経費の増額や、埋設ケーブルの移設経費が必要となり、改めて債務負担行為を設定する提案がありました。

**Q** 地盤改良工事の経費がさらに増額されることはないのか。

**A** 地質調査が終了しているため、提案した額の精度は高い。

● 観光振興課／一部支柱の建設箇所は国有林野の指定地であり、工事の許可が下りた後、現場確認を行う。現在、施工業者と目視で確認しているが1,000万円くらいと考えている。

● 議員／来年度ぐらいには、工事金額が確定するのか。

● 浦川原区総合事務所／軟弱地盤の工事は、今年度中に完了する予定で、工事金額が確定すると考えている。

**被保険者証の発行終了に伴う条例改正**

総務常任委員会では、令和6年12月に現行の被保険者証の発行が終了することに伴い、個人番号（マイナンバー）を利用して保険情報等を確認するための条例改正案が審査されました。

**Q** 医療費助成事業とマイナンバーカードを紐づけるのか。

**A** 情報提供ネットワークを通じ、保険資格情報を確認する。

● 議員／条例改正後は情報連携によって保険資格を確認するとあるが、各医療費助成事業とマイナンバーカードを紐づけるという認識でよい。

● 行政イノベーション課／マイナンバーカード自体に新たな情報を登録するのではなく、情報提供ネットワークシステムを通じて、保険資格情報を確認する仕組みである。



**災害廃棄物の処理**

令和5年度から行っている能登半島地震に伴う災害廃棄物の処理と被災家屋等の公費解体支援について、処理量や支援件数が当初の見込みを上回ることから、費用を増額する補正予算の提案がありました。

**Q** 国からの財源措置はあるか。

**A** 市の負担は、最終的には全体の2.5%程度となる。

● 議員／大規模な災害に関しては国でしっかり財源措置すべきである。今回の財源については、国が半分、市が半分ということになっているが、これまでの4億2,000万も市の負担が半分ということになるのか。また、そうなった場合には、交付税措置があるのか。

● 生活環境課／今回は全体の対象事業費の2分の1ということで環境省の補助金の交付があるが、他に全体の事業費47.5%が特別交付税で措置されるため、最終的には市の負担が2.5%ということになる。

**被保険者証の発行終了に伴うフォローアップ**

厚生常任委員会では、全ての方に安心してマイナンバーカードを利用してもらうため、国民健康保険の被保険者に対し、本年9月に個人番号のお知らせを送付するための経費を増額する補正予算を審査しました。

**Q** 従来どおり受診できる旨も通知してもらえないのか。

**A** チラシに明記しており、丁寧に周知していきたい。

● 議員／お知らせを送付するときに、マイナンバーカードに保険証の機能を付け加えてほしい旨の文言が入ると思うが、同時に資格確認書を発行することによって、従来どおり受診できることもしっかりと通知してほしい。

● 国保年金課／資格確認書の発行は、12月2日以降になるので、時期も含め、周知に努めていきたい。チラシには、マイナンバーカードを持っていない方も資格確認書で受診することができる旨が明記されているので、丁寧に周知していく。

**道路の修繕工事**

牧区と飯山市を結ぶ道路の法面が崩落していることから、これを復旧する工事請負契約を締結します。

**Q** 冬の工事となるが、今年度内に完成は間に合うのか。

**A** 降雪前に工事を完了させたい。

● 道路課／施工規模が非常に大きく、工事期間を要する。現場が県境で、標高1,000メートル付近ということで、降雪が非常に早く、例年だと12月には、雪もあるということから、降雪前までに工事を完了させたい。

**Q** 当市と飯山市にまたがる道路だが、維持管理と連携体制は。

**A** 被災した箇所は当市で、当市が全額負担して修繕を行う。

● 道路課／今回被災した箇所は、県境ではあるが、上越市牧区になるというところで、復旧工事については、当市が全部負担して修繕を行う。道路は、当市と長野市を結ぶ広域道路となり、県道昇格に向けて、期成同盟会があり、新潟県、長野県に要望活動も行っている。



# 審 議 結 果

## 5月臨時会

◎：出席者全員賛成で可決

議案等名	議決結果	議案等名	議決結果
発議案第3号 上越市議会委員会条例の一部改正について	◎	発議案第6号 観光振興対策特別委員会の設置について	◎
発議案第4号 災害対策特別委員会の設置について	◎	同意案第2号 上越市監査委員の選任について	◎
発議案第5号 人口減少社会対策特別委員会の設置について	◎		

## 6月定例会

◎：全員賛成で可決 ○：賛成多数で可決 ×：賛成少数で否決（不採択）

議案等名	議決結果	議案等名	議決結果
議案第78号 令和6年度上越市一般会計補正予算（第2号）	◎	報告第7号 専決処分した事件の承認について（上越市市税条例及び上越市都市計画法条例の一部改正について）	◎
議案第79号 令和6年度上越市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	報告第8号 専決処分した事件の承認について（上越市国民健康保険条例の一部改正について）	◎
議案第80号 令和6年度上越市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	報告第9号 専決処分した事件の承認について（令和6年度上越市一般会計補正予算（専第1号））	◎
上越市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	○	請願第2号 健康保険証の存続を求める意見書の採択を求める請願書	○
議案第82号 上越市市税条例の一部改正について	◎	請願第3号 「防災計画見直しに向けた有識者検討会」設置に関する「意見書」提出を求める請願	○
議案第83号 市道路線の認定について	◎	同意案第3号 上越市教育委員会委員の任命について	◎
議案第84号 工事請負契約の締結について	◎	同意案第4号 上越市固定資産評価審査委員会委員の選任について	◎
議案第85号 新潟県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	○	諮問第1号～5号 人権擁護委員候補者の推薦について	◎
議案第86号 損害賠償の額の決定及び和解について	◎	発議案第7号 議会改革推進特別委員会の設置について	◎
議案第87号 令和6年度上越市一般会計補正予算（第3号）	◎	発議案第8号 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に関する意見書の提出について	◎

（否決）×市長の不適切発言に関する問責決議案提出の動議

## 賛否が分かれた議案、私はこう判断！

○：賛成 ×：反対 -：議長（渡邊隆）は採決に加わらない

議案等名	久比岐野					市民クラブ					つなぐ		みらい		日本共産党議員団		公明党		無所属			議決結果 (賛成：反対)														
	降旗太地	大島美香	草間和幸	安田佳世	ストリート憲美	橋本洋一	飯塚義隆	江口修一	熊倉隆将	山本佳洋	高山ゆう子	小林和孝	こんどう彰治	本城文夫	平原留美	滝澤陽一	関川信之	宮崎朋子	牧井邦生	高橋浩輔	櫻庭節子		石田裕一	平良木哲也	上野公悦	橋爪法一	西沢智子	山田忠晴	伊崎博幸	宮越馨	丸山章	滝沢一成	渡邊隆			
議案第79号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(28:3)	
議案第80号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(28:3)
議案第81号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(28:3)
議案第85号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(28:3)
請願第2号	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択(10:21)
請願第3号	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択(12:19)
動議	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	否決(13:18)

討論とは、提案された議案等に対して、議員が賛成か反対かを表明するものです。討論の内容も踏まえて、採決に進みます。市長提出議案ならびに請願に対して討論を行いました。



## 議案第79号など4議案に対して

平良木議員



日本共産党議員団

マイナンバー制度の導入に伴い、ヒューマンエラーなどによる情報流出が懸念され、国家による多岐にわたる個人情報の集積は、基本的人権を侵害していると考えます。また、費用対効果が明示されていないなどの問題点をそのままにした状態での提案であることから、マイナンバー制度に関連する4議案に反対する。

反対

## 請願第2号・請願第3号に対して

小林議員



市民クラブ

**請願第2号** 健康保険証の廃止は、無保険扱いとなる人が発生する可能性があり、マイナンバーカードの管理や手続き、オンラインシステムへの対応が難しいことから地域医療への影響も懸念される。不安が払拭されるまで現行の健康保険証の存続を望むことから、賛成する。

賛成

山本議員



市民クラブ

**請願第3号** 地震だけでなく水害や大雪などの災害がどこで起きてもおかしくない状況にある中、県が設置した「防災計画見直しに関する有識者検討会」が実効性のあるものでなければ、住民の不安は募るばかりである。住民に一番近い基礎自治体から色々な問題を考えていくべきであり、今回の請願は、過去の災害についても風化をさせず、次に残す第一歩だと考え、賛成する。

賛成

橋爪議員



日本共産党議員団

**請願第2号** 他人の情報がマイナンバーカードに紐づけられるケースがあるなど、国民の命と健康を脅かす事例があることから、現行の健康保険証の存続に賛成する。

**請願第3号** 令和6年能登半島地震のことを思い起こせば極めて当然の意見であり、県民や上越市民の命と健康を守るために、「防災計画見直しに向けた有識者検討会」設置に関する意見書を提出すべきと考え、賛成する。

賛成



それぞれの採決の結果は次ページをご覧ください

# 186の視点

一般質問


一般質問とは、議員が市政全般にわたって、市長や教育長等に方針・見解・事実の説明・報告などを求めるものです。今定例会では、25人が登壇し、186の質問で論戦を繰り広げました。その中から一部抜粋して掲載します。

皆さんは、どのテーマに関心がありますか？



● 渇水・高温対策	}	11 ページ
● 地域独自の予算 / 地元事業者の保全		
● 津波避難ビル / 産業振興策	}	12 ページ
● 市長の政治スタンス / 市職員の退職者動向 / 交通政策		
● 持続可能な地区別まちづくりワークショップ / 市議会議員一般選挙	}	13 ページ
● 犯罪被害者等支援条例 / 少額工事等の契約		
● 企業誘致・産業集積	}	14 ページ
● 春日山開発 / 公共交通		
● 障害者支援 / HPVワクチン接種の充実	}	15 ページ
● 上越地域医療センター病院 / 市長の政治姿勢 / 地域協議会		
● 心の健康診断アプリ導入 / 廃校の利活用 / 海岸美化	}	16 ページ
● コロナワクチン / 保育料無償化 / 金谷山のリフト / 悪天候でも遊べる施設		
● 奨学金の一部補助 / 学校給食費の負担軽減	}	17 ページ
● 予約型コミュニティバス		
● 学校部活動	}	18 ページ
● 医療体制づくり / 学校職員の働き方・暑さ対策		
● 企業誘致 / 地域独自の予算	}	19 ページ
● 農業政策 / 学校給食米 / 外国人市民の災害時避難		
● 学校給食費・子ども医療費の無料化 / 耐震診断	}	18 ページ
● 地域医療再編 / 鶴の浜海水浴場		
● 学校給食の地産地消 / 能登半島地震後の災害対策	}	19 ページ
● コウノトリの保護対策		
● 「総構」内民有地の公有地化	}	18 ページ
● 耐震診断 / 小規模特認校		
● 合併の見直し / 子ども年金 / 戦略的まちづくりの重点策	}	19 ページ

二次元コードを読み取ると、その議員の一般質問の動画を視聴できます。



**農地・農作物への  
渇水・高温対策は**

橋本 洋一（久比岐野）




**問**／今夏は昨年に匹敵する猛暑になるとの気象庁予想が出されたが、昨夏の農地や農作物に対する渇水・高温被害の経験を踏まえた当市の対応は。

**答**／昨年の夏、記録的な渇水と異常高温により、農作物や農地に甚大な被害が発生したことを受け、市では農業者が行うかん水用ポンプの購入に対する補助など緊急的な対策に始まり、水田における干ばつ被害の復旧支援や農業経営を継続するための資金調達に対する金融支援など、被害の状況に応じた対策を講じたところである。


気象庁が発表した向こう3か月の天気の見通しによると地球温暖化やエルニーニョ現象の影響などにより、6月から8月までの降水量はほぼ

平年並み、気温は高温とのことである。市としては今後の気象状況を注視しながら、関係機関・団体と連携して農業者への周知啓発に努めるとともに、被害の発生が予想される場合には過去の対策を基本としつつ、必要な支援を迅速に行えるよう備えていく。

**地域独自の予算、3割負担は酷ではないか**

滝沢 一成（無所属）



**問**／地域独自の予算を求める団体の多くは収益を求めず、地域が少しでも良くなればという思いをもった市民団体である。公の事業であり、市民団体に自主財源を確保しろと大きな負担を強いる制度は根本的におかしい。

**答**／補助の上限を定めているのは、自主財源の確保を促し自らまちづくりに取り組んでいくという誇りを醸成してもらうためだ。経過措置として、継続事業は令和7年度の補助率を10分の9のまま据え置くこととした。

**問**／8月までに申請、実施は翌年度というスケジュールは時間がかかりすぎ。12月いっぱいなど申請の締め切りを延ばすことはできないか。

**答**／来年度予算の組立もあり12月まで延ばすのは難しいが、継続事業については8月末の締め切りを1か月伸ばして9月末までとした。

### 地元事業者の保全について

**問**／地域事業者の安定経営や地域保全を支える地域維持型契約方式導入の予定は。

**答**／経営安定や人手不足の改善に有効であり、実施時期を含め、制度設計を進めていきたい。

**問**／管工事業においても、緊急修繕や災害時応援活動を的確に行うには、事業が継続的かつ安定的でなくてはならない。

**答**／災害時の情報共有を密にしていきたい。



**津波避難ビル  
建設はできないか**

江口 修一（久比岐野）



**問**／A・Bエリアに高齢者が184人もいる。7分以内でいける場所に避難ビルを作れないか。

**答**／津波避難ビルを整備する考えはない。

### 市の産業振興策

**問**／市のポテンシャルから考えて港があり先端大手企業があり、保倉川放水路計画がある。先を見据えた振興策を考えるべきでは。

**答**／工業団地の整備を図り、新たな工業用地の適地

選定を含む基本計画の策定に向けた取組を進めており、産業分野での投資や誘致を促進する産業振興策の推進に向け取り組む。







**市長の政治スタンスに  
疑問**



**問**／令和6年の市議選において候補者へ応援などしなかったと聞いているが、市長の考えは。  
**答**／市議とはお互い緊張感を持って向き合うことが大切で、特定の候補者の応援は差し控えた。  
**問**／政治家であれば応援すべきが常である。市長は政治家ではないのか。  
**答**／選挙に対する政治スタンスは様々である。

**市職員における退職者の動向は**

**問**／自治体職員の退職者が増えている。当市の実態は。  
**答**／令和4年度の自己都合による退職した職員は30人で、10年間で1.3倍。40歳未満では2.6倍となり、若年層は全国と同様、増加傾向。  
**問**／カスハラが増加の一因とも。原因の分析は。  
**答**／退職理由は様々である。カスターマーハラスメントが要因で退職した職員は承知していない。

**交通政策について**

**問**／市内には6か所のインターチェンジが存在する。経済発展のため、今後の活用の考えは。  
**答**／北陸自動車道と上信越自動車道は全国各地との交通アクセスを支える重要な社会インフラである。今後も引き続き、地域産業の活性化や市民生活の利便性の向上に活用していく。



**企業誘致や産業集積に  
将来像と戦略を！**



**問**／企業誘致や産業集積の形成を進めていく上で、当市の優位性や課題をどう捉えているか。  
**答**／広域高速交通網の結節点で、港や鉄道貨物駅等のインフラを有し物流の拠点性に優れている。土地価格や恵まれた生活環境も相まって更に優位性を高めている。反面、人手不足への対応や工業用地の不足が課題として生じている。  
**問**／課題への対応は。  
**答**／人材確保の新たな手立てとして妙高市と共に事業を立ち上げ、今秋より人材マッチングサイトの運用を開始する予定。工業用地の不足に対しては、大潟工業団地の整備に着手している。加えて今年度、新たな工業用地の確保に向けた基本計画の策定にも着手をしている。

**問**／製造業の国内回帰が進行し設備投資額が伸びている。また、物流の在り方をはじめ、産業を取り巻く状況が大きく変化をしてくれている。これに呼応する形で市も新たな産業用地確保に向けて動き出すなど、一歩前へ出る節目を迎えている。この時だからこそ明確な将来像を描き、他自治体の先例のように「企業誘致戦略」を個別に策定し、それに基づいて戦略的に企業誘致や産業集積の形成を進めていくべきではないか。  
**答**／当市の製造業の集積は日本に誇れるものであり、市民生活に必要な産業の維持も重要。まずは現在ある方針や計画に基づいて進めていく。



**持続可能なまちづくりへ  
全市で動き出せ！**



**問**／令和5年度に、大島・浦川原・牧区の三地区をモデル地区として「持続可能な地区別まちづくり支援事業」のワークショップを実施。各地区ヤングチーム・ベテランチームに分かれて、素晴らしい提案があった。このワークショップ開催の評価と提案内容の実現に向けた支援、さらにこの取組を全市に展開する考えはあるか。  
**答**／人口データなど客観的な分析に基づく課題検討や、老若男女の参加による多様な視点で、地域自治の力を活かしたまちづくりの第一歩につながった。今後は地域を担う人材を見出すことに期待して、全市への展開方法について検討していく。



ワークショップの様子(浦川原区ヤングチーム)

**問**／令和6年4月上越市議会議員一般選挙の投票率52.4%の評価と、投票所へ行けない高齢者等への支援対策、さらに今後の選挙事務のDX化を進める考えはあるか。  
**答**／前回より4.75ポイント上昇したが、有権者の関心の度合いや社会情勢などにより左右されるため、一概に選挙啓発活動の成果へ言及するのは難しい。また、投票環境の向上を図る取組を引き続き検討し、DX化については、県が示す内容に応じ、適切に判断していく。



**上杉謙信公の遺徳が  
伝わる春日山開発を！**



**問**／市長の考える、上杉謙信公の遺徳や春日山城の美しさとは何か。責任者の思いを聞きたい。  
**答**／謙信公に思う遺徳とは、生涯を通じて義を重んじ、世にとつて正しい行いを貫こうとした崇高な姿勢である。私利私欲でなく、人のための戦いを続けた利他的な精神は私も大切にしたい。春日山城には、元々の山の地形を生かし、空堀や土塁を組み合わせて合理的に作られた機能美を感じており、山容そのものが美しい。

**問**／春日山開発予算、36億円は20年前の高田・直江津再開発を越える額。春日山の風景を一変できる額であり、それを踏まえた計画策定と市民の機運醸成を図ってほしい。また、開発に正解はないが、最後まで成し遂げることで推進者への信頼が育まれ、地域の資源として残り、地元を豊かにすると専門家から聞いている。事業を成し遂げる覚悟をもっと発信してほしい。

**市民の87%が重要と考える公共交通**

**問**／市長が重点を置いて取り組む事業は何か。  
**答**／中山間地の高齢者向けに予約型コミュニティバスの導入、その運行地域の拡大を進め、運転手確保に苦しむ事業者支援に取り組んでいる。  
**問**／都市計画で、車のない人が排除されているのでは。人口大幅減でも公共交通予算を倍にする町もある。ふるさと納税を全額充ててほしい。



**犯罪被害者等支援条例  
の制定**



**問**／当市は、「みんなで防犯安全安心まちづくり条例」に犯罪被害者等に対する支援を規定しているが、防犯を主眼としたものであり、市民の安全安心は防犯と犯罪が発生した後の被害者等に対する支援が相まって、実現できるものと考えている。犯罪被害者等支援条例を制定する考えは。  
**答**／既存の条例や計画に基づき、犯罪被害に遭われた方々への支援体制を構築していることから、現時点で、犯罪被害者等支援条例の制定は考えていない。

**少額工事等の契約の見直し**

**問**／予定価格が130万円以下の少額工事は、近年の消費税や物価高騰を考慮すると、見直しの時期に来ている。今後市として市場調査を行い、対象となる工事等における1件あたりの予定価格の上限額の改定を検討する考えはないか。  
**答**／予定価格の上限額を引き上げることとは、法に基づき入札手続に移行することになり、小規模事業者の負担の増加や、受注機会の確保という制度の趣旨を損ねることも懸念される。このため、当市独自で上限額を改定する考えは持ち合わせていないが、今後、小規模事業者の声や他自治体の動向等を踏まえ、国に対し、130万円の上限額の引上げの法改正を要望していくことも検討していきたい。



**障害者支援の充実を！**



**問**／障害者手帳等の保有者に支給されるタクシー券が足りないとの声があるが、追加交付をする考えはないか。  
**答**／年間2万4千円分支給しているが、令和4年度は58.4%の方が利用券を使い切らなかった。物価高騰もあり、要件も合わせ検討したい。  
**問**／就職を希望している障害者全員が就職できるように、どのような取り組みを行っているか。  
**答**／「障がい者就業・生活支援センターさくら」にジョブサポーターを配置し、受け入れ企業の開拓などを行っている。関係機関と連携し個々のケースに寄り添った支援を行っている。

**HPVワクチンキャッチアップの取り組み**

**問**／HPVワクチンのキャッチアップ接種率は。  
**答**／令和5年度末で18.7%。  
**問**／不安を払拭する情報発信はできているのか。未接種者に対して個別通知でお知らせをする時期だと思うが。  
**答**／安全性・有効性の周知を図り、8月上旬を目途に、未接種者と1回接種者に向け案内を送付する。  
**問**／男性のHPVワクチン定期接種に助成する考えはあるのか。  
**答**／国の動向を注視することとしており、現時点では考えていない。





上越地域医療センター  
病院の早期建設を！  
本城 文夫（市民クラブ）



問／現在地での改築を決めてから6年。計画が遅れているが基本設計の見直しはどうか。  
答／改築後の収支悪化が見込まれたことや、上越地域医療構想調整会議で労災病院の歯科口腔外科や回復期の入院などの受け入れ合意もあり、令和11年度の完成に向けて努力している。

### 市長の政治姿勢と公約・評価は

問／度重なる失言問題など市政の停滞感が目立つが、公約進捗状況と自己評価は。また市議会との向き合い方は。  
答／市政運営に対する市民からの厳しい声をしっかりと受け止め、勇気を持って決断実行する。各施策を進める際には共感いただきよう説明を重ねる。8つの政策プロジェクトの調査・検討し、43項目を着手している。評価は私自身ではなく市民の皆さんからいただくもの。議会とは対等な立場で尊重し合う関係を築きたい。

### 地域協議会の方向性は

問／地域自治推進プロジェクトの中で、どのように検討しているのか。結果を地域協議会に公表すべき。改選後の地域協議会への期待は。  
答／地域自治制度設計に反映したい。地域からの調査結果も合わせて検討資料を示したい。地域の意見を審議し課題解決してほしい。



現役世代に光当たる  
上越市へ！  
熊倉 隆将（市民クラブ）



問／若者の奨学金を一部補助してくれる制度が創設された。多くの人が知る機会を増やすべきと考えている。どんな取組を行っているのか。  
答／広報上越や市のホームページ、SNSを始め、市内の事業所や合同説明会、二十歳を祝う会などで周知を図っている。

問／補助額の上限は100万円であるが、将来を担う若者のために来年度以降、上限額を引き上げる考えはないか。  
答／まだ制度が始まったばかりで今後のことは検討していない。しかし、今後の情勢などを見極めた上で再度検討していきたい。

### 子育て世代の家計負担軽減を！

問／就学支援制度適用世帯から、もう一歩踏み込んで、学校給食費の負担軽減について所得制限を緩和する考えはないか。  
答／現状では物価高騰相当額を市が負担している。また経済的理由で就学が困難な生徒に対しては学校教育法の就学支援制度により学校給食費の全額補助を行なっている。国や他自治体の動向を勘案し、必要に応じて費目の拡充や支給額の増額等について検討していきたい。



大切な健康診断  
「心」は健康ですか？  
ストラットン恵美子（久比岐野）



問／小中学校の「心の健康診断」でメンタルヘルス予防や改善に役立つアプリ導入の考えは。  
答／一人一台タブレット端末で学校独自にアプリ活用を始めた中学校もある。その他の支援と合わせ、日々のデータ蓄積で生徒の心の変化やOSに気づける当該アプリの活用状況や成果を踏まえ、小中学校への展開を研究する。

### 廃校活用で地方創生を狙った仕掛けを！

問／廃校活用に向けた今後の取組みは。  
答／建物の構造や規模、老朽化の度合いや立地条件など様々であり、地域や民間事業者の需要とすぐにマッチングすることは少ない。各種法令への適合や手続き、改修などの課題もあり、関係部局間の連携を密にし、意を用いていく。  
問／廃校活用した福祉交流施設の設置検討は。  
答／福祉活動の拠点となる施設を探すが、団体へは廃校を含めた空き施設を紹介するなど個別ニーズに対応している。



### 海岸美化に努める当市の積極性をPR

問／国際環境認証「ブルーフラッグ」取得は。  
答／認証は難しいが、地元町内会やボランティア団体が海岸清掃などの活動を行い、普及の輪を広げている。市民の環境美化・保全に対する意識向上、地域の愛着が一層深まるよう努める。



誰もが気兼ねなく移動  
できる手段を目指して  
宮崎 朋子（つなぐ）



問／予約型コミュニティバスが好評と聞くが、今後他地域への展開を想定する中で、その財源確保にはどう取り組んでいくか。  
答／予約型コミュニティバスは、これまで安塚区、牧区で導入。令和6年4月からは浦川原区及び大島区で実証実験を開始し、令和7年度に板倉区、令和8年度に名立区、令和9年度に吉川区・金谷区にて導入を計画している。区内への細かなバス停設置により自由な移動が可能。運行経費は、路線バスに比べ増加することが課題であるが、運行経費に対しては約7割が特別交付税で措置されることとなっており、今後も安定的な公共交通の維持に努めていく。

問／バス停まで歩いて行けないという市民の声も聞く。「戸口〜戸口」が望ましいが、相乗りタクシーや住民互助輸送、グリーンスローモビリティ（低速の小型電気自動車）の可能性はどうか。  
答／相乗りタクシーと同等のサービスとして、当市では予約型コミュニティバスを運行してきた。運行事業者とも協議しながらであるが、将来的には運行範囲の拡大は可能と考えている。住民互助輸送は、今後も導入予定がある。グリーンスローモビリティは積雪時等の課題もあり、日常的な移動手段というよりも、観光分野での活用を検討していきたい。



新型コロナウイルス  
後遺症  
伊崎 博幸（無所属）



問／新型コロナウイルスワクチン（mRNAワクチン）接種後の副反応に関し、全国で予防接種健康被害救済制度を申請する人が激増している事実があるが、認定された市民に申請費用の一部を支援する考えは。  
答／市が独自に支援を行う考えはない。

### 切れ目ない子育て支援

問／0〜2歳児の保育料無償化を検討しては。  
答／現時点で具体的な見通しを述べることは難しい。  
問／悪天候でも屋内で遊べる場所が少ないという市民要望への対応は。  
答／市内25か所に子育て広場を開設している。図書館やリージョンプラザなどもある。現時点で、新たな施設の設備や既存施設の改修の考えはない。

### 金谷山スーパーボブスレーのリフト

問／金谷山ボブスレーのリフトに未就学児は乗車不可だが二人乗りリフトに改修する考えはないか。  
答／安全性が確保できない中で乗車可能年齢を拡大することはできないが、地域の方々と共に金谷山公園の在り方を議論する中で、今後の対応について検討していく。



学校部活動と地域クラブ  
の在り方  
降旗 太地（久比岐野）



問／市は部活動に関する市民のニーズに応えるために、どのような制度設計を考えているか。  
答／生徒の自主的、自発的な参加による活動を通してバランスの取れた健全な成長を目指し、子どもたちの利益を守ることを最優先として、それぞれの志向に応じた活動に取り組むことのできる環境を整えていく。

問／部活動の地域移行を段階的に進めるために、改革の全体像や学校と地域クラブ等との関係を分かりやすくスピード感を持って示す必要があるが、市長の考えはどうか。  
答／市長部局と教育委員会が一体となって一層スピード感をもって取り組まなければならない。今年度、「地域クラブ活動推進室」を新設。機能を十分に発揮させ、取り組みの推進を図る。

問／地域クラブ活動推進室の設置理由と目的について聞きたい。  
答／「中学校における部活動改革」と「地域における子どもたちのスポーツ・文化活動の環境整備」の取り組みを一体的に推し進めるために新設。総合窓口として情報の集約や広報を行うとともに、取組全体の方針を定め、関係各課が行う業務を調整・管理する取り組みの中心的な役割を担う。







安全で安心して受けられる医療体制づくりを

山本 佳洋 (市民クラブ)



問／上越地域医療構想調整会議の中期再編計画の説明について、市民に誤解を与えないよう市として積極的に説明会を開くべき。

答／県、市との共催による随時開催とあわせて、市民からの要請にも積極的に対応する。

問／県は県立病院の見直しを公表している。柿崎病院の移譲に応じない姿勢を確認したい。

答／市への移譲は困難であるという、これまでの考え方に変わりはない。

**学校における職員の働き方、暑さ対策は**

問／上越市の職員の欠員状況と対策は。

答／欠員は生じていない。令和4、5年度の育休・病休者等には代替職員で対応できた。

問／教職員の勤務時間と部活動時間の把握は。

答／タブレット端末により把握している。部活動等で修正が必要な場合は事後で対応している。

問／過労死基準80時間を超えた教員は。

答／今年度の4月に小学校で全体の10%にあたる73人、中学校で25%の107人が該当。学校運営支援員等で軽減を図っている。喫緊の課題であり、働き甲斐のある環境をつくっていく。

問／今年度の空調設備の設置状況は。

答／使用頻度の高い中学校の特別教室として春日中を、統合に合わせた改修として東頸中、戸野目小、里公小の特別教室に設置予定。



企業誘致の進展はいかに

丸山 章 (無所属)



問／首都圏等の大学、専門学校等の学生に対して、当市に勤務・定住できる条件等について調査しているのか。また、当市の魅力、未来に希望が持てる産業があることを若い人達にもPRしたいとしているが、実際に行っているのか。

答／当市への移住・就業に関する調査は実施していない。一方、新潟県がUターン者向け総合サイトや都内の「にいがた暮らし・しごと支援センター」を通じて情報発信を行なっている。

問／新潟県東京事務所へ市職員を派遣し、主な仕事は企業誘致業務に従事するとしているが、記者会見やマスコミ報道で示された市長の考え方は、派遣意義は不要と考えるがどうか。

答／役員を務める首都圏の企業等との関係性の構築やPR手法などの強化と、企業訪問による情報収集やきめ細かな情報提供を行うなど、東京を拠点とした誘致活動の役割を果たしている。

**地域独自の予算は、課題解決につながるの？**

問／当市では、地域のことは地域で決め、地域で実行することとしているものの、地域づくりの重要性、気づき、手法等を学ぶ機会といった前段階の施策が何もないが、見解を聞きたい。

答／多くの市民が、地域での様々な課題等への気付きや学びの契機となる場に参画し、様々な活動経験を積めるよう、意を用いていく。



学校給食費・子ども医療費の無料化を

平良木 哲也 (日本共産党議員団)



問／学校給食費と子ども医療費を無料にすべきではないか。

答／低所得など困っている世帯の給食費や医療費の支援を優先している。

問／限られた予算内では優先順位も考えられるが、民生費や教育費など子どもを大切にしている予算を増やせないか。

答／本当に必要な方への支援は教育委員会や健康福祉部、子ども子育て部が連携し進めている。

問／給食費無料化は、定住転入促進という視点からはどのような議論になっているか。

答／移住定住は人口減少に通ずる施策なので、身を引き締めて取り組んでいるところだ。

**高床式住宅も耐震診断の対象に**

問／木造住宅耐震診断支援事業は、開始間もなく募集予定件数に達したが、市民要望が大きいことから、追加募集をしてはどうか。

答／現在の診断員の人員体制では、今年度の診断件数が対応できる上限となっている、

問／いわゆる高床式住宅は市のマニュアルでは診断ができないことから対象外とされていたが、次回に向けて改善すべきではないか。

答／どうすれば評価できるかを建築士会や専門家ともう一度相談する中で、来年度以降の対応を検討していきたい。



上越市農業政策と学校給食米

草間 和幸 (久比岐野)



問／今後の農業政策と将来ビジョンは。

答／依然として生産資材価格の高止まりが続く中、農業経営は非常に厳しいと認識。市は、当市に適した米生産の方向性などを検討し、情報発信に努めるほか、基盤整備など、農業経営安定のための取組を進める。「上越市食料・農業・農村基本条例」に基づく基本計画に沿って、各種の課題に取り組む。

問／学校給食米をコシヒカリに戻せるか。

答／昨今の物価高騰が続く中、保護者の経済的負担を増やさず、市が物価高騰相当額を負担している状況にあることから、更なる市の負担は難しい。



**外国人市民による災害時避難**

問／外国人市民の避難をどう検討していくか。

答／外国人市民からリーダーを選任し、リーダーを中心に、円滑に避難誘導ができる人材などを育成する。また、避難方法を4か国語で説明した防災パンフレットなどを説明する研修会を開催し、事業者や町内会の皆さんと協力・連携して取り組むこととしている。



採算性優先では市民の命は守れない

上野 公悦 (日本共産党議員団)



問／高度医療を備えた中核的な病院を整備し、周辺病院はそれぞれの規模と機能による受け皿の役割を担うとした地域医療再編では、広域な地域と雪国という地域特性を持つ当市においては市民の命、地域医療を守れないのではないか。

答／中期再編により今より手厚い体制で、急性期・救急医療、小児科周産期医療など高度な医療により中核病院の集約機能強化をめざす。

問／新潟県は3月に第8次県地域保健医療計画を発表したが、2025年の必要病床数は今よりも96床増となっている。構想会議の方針と矛盾しているのではないか。また、5月30日には県病院局で「県立病院の経営改革方針」を示したが、柿崎病院の診療所化などが懸念される。命より採算性を優先にした地域医療縮小計画そのものではないか。

答／県で発表した病床数は現実的なものではない。なぜこの数値を出してきたかは県に聞いてほしい。病院局の発表も聞いていなかった。病院局と健康福祉保健部はもっと連携してほしい。

**綺麗な鵜の浜海水浴場を元通りに**

問／鵜の浜海水浴場支援と長期的な復旧は。

答／県の橋建設工事で発生する砂を提供してもらい予定通り7月に開設できる見通しだ。昨年から海岸侵食対策に着手、砂浜の回復をめざす。



学校給食で上越産食材のさらなる使用を！

安田 佳世 (久比岐野)



問／学校給食における地産地消の推進状況は。

答／令和5年度の学校給食における地場産野菜の使用割合は13・5%。地産地消を更に推進していくためには、学校給食にご協力いただける生産者を増やすことが必要。昨年7月に若手生産者、納入業者、JAえちご上越、市の担当部で意見交換会を実施し、課題改善に取り組んでいる。今後も意見交換を続け、地産地消の取り組みを推進していく。

**令和6年能登半島地震後の災害対策について**

問／課題の検証や避難方法等の検討状況は。

答／主な課題は、情報発信と住民避難。情報発信については、広報上越で適切な避難行動を周知した。住民避難については、避難所の開設・運営マニュアルの見直しを行い、年度当初の打ち合わせで内容を確認した。また、課題の検証と対応のため、沿岸部を対象に地域ごとに意見交換、ワークショップを実施している。

問／災害時の応急対策に関わる管工事業者、建設業者、電設業者等との連携や協力体制は。

答／当市では117団体と相互応援協定を締結し、災害発生時の支援物資の提供やインフラの早期復旧等に向けた体制を整えている。各業界団体とは、平時から災害に備えた連携強化や顔の見える協力体制の構築に取り組んでいる。





「コウノトリの郷への発展  
めざし積極的支援を」  
橋爪 法一（日本共産党議員団）



問／5月6日に吉川区内でヒナの誕生を確認した。特別天然記念物のコウノトリが繁殖の場として、環境保全型の農業を進めている上越市を選んでくれたことをとてもうれしく思う。今回のヒナの誕生をどう受け止め、今後どういう保護対策を考えているのか。

答／まずは、今回誕生したヒナが無事に巣立ってほしいと願っている。保護については、引き続き専門家から指導を仰ぐとともに、文化庁や環境省、県などの関係機関とも連携を図りながら、適切に対応していきたい。

問／ここ数年間にコウノトリを一番見かけたのは頸北だ。5割以上低減栽培が一番進んでいる。だが、面積を維持し、増やすのは大変で、支援が必要だ。関係農家の声を聞いてコウノトリの郷になるよう全力をあげてもらいたい。

答／科学的な分析に学び、この環境を広めていきたい。担当部局と話をしながら政策を進めていきたい。



「中川市政では大胆な政策展開は難しい！」  
宮越 馨（無所属）



問／不都合な大合併後20年近くになる。人口も著しく減少し、まちはちぐはぐになっている。このため、合併を見直し、中郷区を妙高市に再編するとともに、頸北及び東頸ブロックに特別区制度を導入し、区長を配置し、行政の効率化と住民サービスの向上を図るべきだ。

答／中郷区の地域自治を推進している中で、見直しは考えていない。ブロック制については、導入の考えはないが、地域自治区の区域や総合事務所の在り方などについて、総合的に検討しており、検討を進める際に参考としたい。

問／国の少子化対策である第3子から高卒まで月額3万円を2万円上乗せして、私の政策「子ども年金」月額5万円とし、全国のモデル都市として取り組み、人口増の政策を図るべきだ。

答／今後も子育て環境を整備し、時宜に合った政策を実行していく。

問／新幹線駅周辺の大規模区画整理事業（スマータタウン）の推進、高田本町の駐車場の実質無料化（3時間無料）、直江津駅前再開発のための小学校の統合を進めるべき。

答／情勢の変化に応じ、研究を重ねていきたい。

問／労災病院跡地利用は、市が労働者健康安全機構より移譲を受け、コワーキング（テナント）病院として継続すべきだ。

答／病院施設が老朽化しており、実現は難しい。



「総構」内の民有地に  
関する今後の公有地化  
小林 和孝（市民クラブ）



問／通年観光計画において、今後整備が予定されている「総構」は、未だに民有地のままとなっている部分があるが、今後の公有地化についての計画を聞きたい。

答／「総構」部分に残る民有地については、近年更なる公有地化の要望をいただいている。今後の公有地化については、現在進めている通年観光計画やレガシー形成事業との整合を図る中で、市の財政計画も勘案しながら検討していきたい。

問／史跡指定地拡大とその方向性について聞きたい。

答／史跡指定地の拡大については、「総構」内に残されている民有地の公有地化を優先し、公有地化が完了した後に、新たな追加指定の検討を行いたい。ただし、追加指定に向けた登記記録確認等の準備作業は引き続き進めていく。



問／集中豪雨などによる崩落等の心配は。

答／災害・復興科学や地質、植物などの専門家から指導いただきながら、日常点検のほか、排水処理、倒木の危険のある樹木の計画的な伐採などの対策を進めている。

## 抗議文を市長へ手交しました

6月21日（金）に市議会6月定例会一般質問において失言した中川市長へ、議長から抗議文を手交しました。

市長はこれまでも、この度の発言以降も、同様の失言を重ねており、関係する方々を大いに傷つけたことは取り返しのつかない重大な過ちであることに加え、市政を議論すべき議場を混乱させ、審議を滞らせたことに重い責任があることから、市議会の総意として、市長に対して厳重に抗議したものです。



この度の市長による不適切発言に対する申入れ

上越市長 中川 幹太 様

去る令和6年6月18日の上越市議会6月定例会一般質問における市長の市内事業所及び市民に対する不適切な発言について、市長は即座に議場で謝罪と取消を行いました。

しかしながら、報道等によると、その後も同様の失言を重ねており、市民の市政に対する信頼感の喪失など、今後の市政運営に計り知れない影響を与えています。

上越市議会としては、以下のとおり、今回の市長の度重なる失言に対して厳重に抗議します。

- これまでも、そして今回の発言以降も、同様の失言を重ねており、議会としては見過ごせないものとなっている。
- また、この度の失言で、関係する方々を大いに傷つけたことは取り返しのつかない重大な過ちであり、その責任は極めて重い。
- 加えて、市政を真摯に議論すべき議場を混乱させ、審議を滞らせたことにも重い責任がある。
- 今後、二度とこのような事がないよう、市議会の総意として、市長に対し厳重に抗議する。

令和6年6月21日

上越市議会

議長 渡邊 隆



「低コスト工法による  
耐震化で安心安全を！」  
高山 ゆう子（市民クラブ）



問／当市が支援している無料耐震診断と改修費用についてこれまでの申請状況は。

答／耐震診断は97件の申込みがあったが、改修の申込みはまだない。

問／耐震診断1件辺りの費用は。

また、診断後に改修まで繋がらないのはなぜか。

答／上越市建築士会に診断を委託しており、約9万9千円である。改修に繋がらないのは改修費が高いことや後継ぎがないためと考える。

問／耐震診断は最初の一步。改修に繋げ、施策の価値を高めてほしい。費用が安価な「低コスト工法」を当市に広めるつもりはないか。

答／合板や筋交い、金物を使った工法であると認識しているが、詳細は、現在研究中である。

問／現在23の都道府県で補助対象となつている。市民が安心を手に入れられるよう、安価で強い耐震工事を広め、実現してほしい。



「学びの多様な学校に小規模特認校の視野を！」

問／校区外から通える小規模特認校は「子ども希望を叶える学校」として不登校の子どもも受け入れ、きめ細やかな指導と特色ある教育を実現している。当市の不登校特例校設置検討にこのような視野やイナプラン教育なども入れてみては。

答／広い視野を持ち、今後検討していきたい。



# 議員表彰が ありました

全国市議会議長会から、永年在職議員の功績をたたえて3人の議員に表彰状が贈られました。

また、全国市議会議長会から、議長会評議員としての功績に対し、石田裕一議員へ感謝状が贈られました。



石田 裕一 議員  
評議員感謝状

江口 修一 議員  
在職 20 年以上

飯塚 義隆 議員  
在職 20 年以上

渡邊 隆 議長  
在職 20 年以上

## 編集後記

11人のフレッシュな新議員、2期目に入る議員、合併前を含め任期30年以上のベテラン議員等が、4月の改選後、最初の今定例会に臨みました。議会広報として、これら多様な議員の多様な活動を面白くリアルティに伝えていきます。

広報広聴委員会 上野公悦

## 次の定例会は

令和6年 9月2日(月)～

総括質疑 9月2日(月)～3日(火)

委員会 9月4日(水)～13日(金)

一般質問 9月18日(水)～24日(火)

採決 9月26日(木)

※日程が変更となる場合は、ホームページ等でお知らせします。

次号は、令和6年10月25日発行です。

